

S-KYT研修を実施して

1. はじめに

神奈川県消防協会湘南地区協議会は、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、平塚市、大磯町、二宮町の3市3町で構成されています。

2. 各消防団の概要

当協議会は、平成30年10月1日時点で、消防団員数は1,660人（藤沢市480人、うち女性団員8人、茅ヶ崎市412人、うち女性団員16人、寒川町175人、うち女性団員0人、平塚市348人、うち女性団員2人、大磯町167人、うち女性団員3人、二宮町78人、うち女性団員0人）、編成分団数は99分団（藤沢市31分団、茅ヶ崎市22分団、寒川町10分団、平塚市19分団、大磯町12分団、二宮町5分団）となっています。

3. S-KYT研修開催の経緯

当協議会では、例年、協議会各市町の団員の親交を図るとともに、消防団活動時における危

神奈川県消防協会湘南地区協議会

険を予知し、これに適切に対応出来る能力を養成するため、消防団員等公務災害補償等共済基金の助成、後援を受け、各市町消防団員の主に班長以上の団員を対象に「消防団危険予知訓練（S-KYT）」を実施しています。

4. S-KYT研修を実施して

平成30年9月9日（日）に実施して、消防団員54名に受講していただきました。S-KYT研修は、基金より派遣された消防職員OBの方による指導のもと、消防団員の公務災害に関する講義を通じて、研修を行うことの重要性を説明していただきました。

次に、指差し呼称、指差し唱和、タッチ&コールなどの実技を通じて、確認作業や団員の健康状況を把握することの重要性を学びました。そして、消防活動における現場にどのような危険が潜んでいて、またその危険に対してどのように対処したらよいかについて、班ごとに話し合



いを行いました。

以上のように、S-KYT研修は通常の座学の研修とは異なり、実践的な実技を中心としているため、班員同士がお互いに意見を出し合うことで、連帯感が高まり、とても有意義な研修になりました。

受講した団員からは、「講義だけではなく、演習や実技を交えた研修で、非常に分かりやすかった。分団においても、今後継続して行い団員の安全意識を高めていきたいと思います。」「団での活動はもちろんのこと、仕事や運転時においても、指差し唱和を行い、危険防止に努めていきたいと思います。」「他市町の消防団員との交流が、普段はないので良い機会でした。」「活動の際に、指差し呼称、指差し唱和を使って、事故やけがのないように努めたいと思います。」等の意見がありました。



5. 今後の取組

今回のS-KYT研修を通して、団員一人一人がお互いの様子や行動に目を配り、危険要因の把握や、安全の確保に努めることの重要性を学びました。

現場に潜む危険を見抜く能力を養い、基本に従って行動するという意識を持つことで、有事の際に安全管理を第一に行動できるようになると思います。

今後も消防基金にご協力をいただき、日々の健康管理を始め、消防団員の公務災害防止や安全管理に関する研修を行っていききたいと思います。

最後に、今回の研修実施にあたり、ご協力いただきました講師の方々には心より感謝いたします。

